

市民が集まり、憩い、楽しめる緑豊かな場所にいたしましょう



森の中の高知駅



高知を愛する皆様へ（「お知らせ」令和3年6月号）

令和3年6月1日

ずいぶん早い梅雨入りとなりましたね。南口電停脇の『みんなの庭』ではアジサイが雨の季節の訪れを告げています（写真）。

さて、今月の活動予定のお知らせです。

6月13日（日）09:00～10:30「みんなの庭」で夏～秋花の苗を植えましょう。

事前に、開花期を終えた冬～春花を取り除き、土起こし・施肥を行います（11日を予定）。

<7月の共同活動日は11日（日）。8月はお休みですが水遣りは欠かせません。>

〇トピックス：

—5月9日（日）：汗ばむほどの陽気の中、『みんなの庭』の草取り・清掃を行いました。

—5月10日（月）：高知市みどり課を訪ねて夏～秋花苗の調達助成を確認、枯死して撤去された驛前のヤシの木についても話題にいたしました（関連記事を次ページに掲載）。



駅前緑化活動はご賛同の方々のご厚志で維持されております。引き続き皆様のお力添え（花苗持ち寄り、勤労奉仕、ご寄付など）をお願い申し上げます。

♥森の中の高知駅♥ 幹事連絡先：〒780-0042 高知市洞ヶ島町1-11

中田昌志 携帯電話：090-8849-3651 E-mail：m.nakata1941@gmail.com

公文敏雄 携帯電話：090-7016-3743 E-mail：kumont2@yahoo.co.jp

ホームページ：<http://mori-kochi-eki.jimdo.com/>

取引銀行：四国銀行よさこい咲都支店「森の中の高知駅 代表中田昌志」ナカタマサシ名義 普通 0709695

駅前からヤシの木が消えた

高知駅南口に、訪問者をおもてなしするかのようにたたずんでいた1本のヤシの木をご存じでしょうか？（写真①）今年に入って異変に気づいた私どもが高知市みどり課に通報して点検してもらったら、すでに枯死しているとして4月に撤去されました（写真②）。

かつて高知駅前には見事なワシントンヤシが林立していましたが、旧駅舎の建て替えに先立って夜須町ヤシパークなどに移植され、この雄々しいココスヤシ(?)だけが残されていたのです。

高知を訪れる人々の多くが、ヤシの立ち並ぶ大手筋や江ノ口川端の景観を嘆賞し、カメラに収めています。市内随所に植わっている様々なヤシは南国高知のシンボルと言ってもいいほど（写真③）。駅前のヤシの木も旅人のブログで紹介されていました。

遠からぬ先の復活を願っております。



①ありし日のヤシの木(高知駅南口
2019年5月旅行者撮影)



②撤去後の現場(赤い花が植
えられている 本年5月撮影)



③高知県庁・市役所前のヤシの木
(2020年10月旅行者撮影)

ヤシの木の復活—しまんちゅのころ（『沖縄タイムス』紙5月19日配信記事より）

沖縄県読谷村波平の海岸「ナッコーリバマ(通称)」で2月何者かによってヤシの木が無断で伐採された場所に、善意で寄贈されたヤシの木が5月上旬、新たに植えられた。人々の憩いの場の復活に、地主の国吉真紀さん(59)は「人の心の温かさを感じた」と喜ぶ。（写真は新たに植えられたヤシの木—読谷村海岸）



国吉さんは木が切り倒されて「精神的にも参った」が、周囲に励まされ、友人の比嘉徹さん(60)らともう一度植える決意をした。ヤシの木を購入しようと、木花を出荷する農家で作る組合「やんばる緑花木」を訪ねたところ、事情を知る組合から逆に寄贈を申し込まれた。組合はヤエヤマヤシ4本を寄贈した。友人らも10本購入して国吉さんに贈り、5月7～9日に植樹。無断伐採で残った1本と合わせて計15本が海岸に並ぶ。組合の島袋純代表は「無断伐採は農家からしたら考えられないほど残念で、少しでも国吉さんを元気づけたかった」と語る。比嘉さんは「毎日見ても感動する景観になった」と笑顔。国吉さんは「ヤシの木は友好の印として大切に守りたい」と感謝した。